

静岡市で4年ぶりに開催!

地球の

世界を旅するエコロジスト
松本英揮のお話し会

スライドショー

—世界135カ国24万Kmチャリで感じたこと—



[日時] ▶▶ 2021年

① 11月26日(金) PM6:30 ~PM8:00

② 11月27日(土) AM10:00~AM12:00

(各回30分前より受付開始)

[会場] ▶▶ 梅ヶ島温泉 湯の華

(静岡市葵区梅ヶ島5276-2

安倍大滝入口バス停下車すぐ)

= 松本英揮(Matsumoto Hideki)プロフィール =

松本英揮 世界135カ国24万kmを一台のチャリで走り、各国で地球🌍メッセージを伝える。

冬は大阪西成ドヤで土方&大工、夏は富良野で農業&ドイツ&オランダエコツアー

新月伐採木こりもやる 静岡県大、静岡大、東京学芸大、立命館大、上海教育大、

南京農業大などで地球環境講師 子どもは唯人(26)&ミニブタゆんすけ

小楠健志監督 “地球🌍6周して分かったこと”英揮主演 上映中

= 英揮さんよりメッセージ ~人類にとって最も大切な2021~ =

コロナ真実をどう捉え、真に豊かな時代を創る、11.26静岡でシェアしましょう☆

オランダエコツアーヨーロッパでシェアしたコロナ真実 覚醒した欧州の人たち。コロナはチャンス☆

教育システム&社会システムを真実に変える🌀 2024ユーラシア大陸チャリ横断計画 英揮還暦☆

お話し会終了後、湯の華にて懇親会開催

[参加費] 大人2,000円 / 大学生・高校生 1,000円 / 子ども無料

[懇親会会費] 1,000円 + 飲み物実費 (軽食をご用意いたします)

お申込み
お問い合わせ

TEL 090-6760-1996(小泉) MAIL s.yamamoto1127@gmail.com

主催:地球のスライドショーinしずおか (代表:小泉紗佑里)

最新情報をCHECK ▶▶▶



＝過去のお話し会に参加した方の感想＝

●ひできさんのお話を聞いていると、自分が知っていると思っていた世界がどれだけ狭かったのか思い知らされると共に、「じゃあ、自分に何ができるの?」ということを考えさせられます。

●自転車で世界各地を旅してきた英揮さんのお話は、とても興味深い内容ばかりで、**社会事情や貧困問題、教育、医療、環境、経済、まちづくり**のことなど、世界では実際にどうなっているのか、現地で知り得た真実を、美しい写真のスライドでお話をするスタイル。自分が知らない世界を、目を揮かせて聞いたことを覚えています。

●英揮さんは、ていねいにお話をしてくださるし、ていねいにお話を聞いてくださるので、人を大切に人だなと。人を受け入れるあたたかさというか、どこでも、誰とでも平等という在り方が素敵だなという印象を受けました。

●会場のご案内●

※静岡市営林道のため、詳細は静岡市役所へお問い合わせください。
※通行可能期間：5月～11月

↑至山梨
おゆのふるさと公園&湯元屋 ● 鯉ヶ滝 ● 安倍峠 ● 安倍の大滝
● 梅ヶ島温泉 湯の華 ● 魚魚の里
黄金の湯 ● 赤水の滝 ● 真富士の里
←至井川
新静岡ICから車で約50分
至清水→
JR静岡駅
静岡ICから車で約80分
静岡駅北口より
静鉄バス
「梅ヶ島温泉行き」乗車
「安倍大滝入り口」下車
徒歩3分
◎新静岡バス案内所
☎054-252-0505
周辺観光情報の詳細は
中面に記載しています。

設備のご案内

- 客室 6部屋
- 浴室 家族風呂
- 収容人数 18名
- 特別料理 山菜料理・猪鍋料理(要予約)
- 広間 45畳1室
- 施設 卓球台2台、キャンプ場、カラオケ

滝見物・日帰り温泉・休憩・お食事も、どうぞ気軽にご利用ください

梅ヶ島温泉 湯の華
〒421-2301 静岡市葵区梅ヶ島5276-2
☎054-269-2253
<https://umegashima.site/>

お宿と温泉のはなし * ごあいさつ *

梅ヶ島温泉の入り口に位置する湯の華は、安倍大滝吊り橋を目の前に、薪の煙と猫たちと共にみなさまをお迎えいたします。地元静岡の食材をふんだんに使ったお料理と、アットホームなおもてなしで親子三代・半世紀にわたり皆様に愛されてきたお宿です。便利な施設は何もない場所です。しかしながら安倍川源流のせせらぎや、南アルプスの峰々を間近に感じ、街の喧騒と離れた、自然の中でリラックスした時間をお過ごしいただけることと思っております。



梅ヶ島温泉って * どんどこ? *

静岡市の北部標高1,000メートル、安倍峠や八鉦嶺、大谷崩などの尾根に囲まれた安倍川の最上流にある湯の里です。泉質はアルカリ単純硫酸泉で濃度が高く、ヌルヌルとした美肌の湯として知られています。

梅ヶ島温泉の歴史は古く、戦国時代には「信玄公の隠し湯」として合戦で傷ついた侍の診療所の役割を担い、その後も徳川家をはじめとする名だたる人物が訪れたといえます。

